11月 2026

アジア大会・パラ大会に出かけましたか？行こうかなと思っている間に閉幕してしまいました。しかし、バスケットボールBリーグのシーズンも始まり、IGアリーナを本拠地とする名古屋ダイヤモンドドルフィンズが開幕8連勝、1位でホームに帰ってきます。ホーム開幕戦は、このおたよりを書いている今日10月30日(金)、行ってまいります！書きながら、心はIGアリーナへGO!! 12月からは、商店街とコラボしたイベントもはじまります。またお知らせしますね。

『パーキンソン病』って聞いたことありますか？～腸管起源説だって!?!?

指定難病のひとつであるパーキンソン病は、世界で2番目に多い神経変性疾患です。脳内でαシヌクレインというタンパク質の凝集体が蓄積することで、神経細胞死を引き起こすものです。患者数は高齢になるほど増加傾向にあり、じっとしていると ふるえが出たり、筋肉が固くなって運動障害があらわれる特徴があります。どうして発病するのかは、まだわかっていませんが、近年 発病初期から、αシヌクレインの腸管神経叢へのあきらかな凝集が見られることや、パーキンソン病の患者さんでは、特定の腸内細菌の増減がみられること、短鎖脂肪酸産生菌が少ない or(あるいは) ムチン分解菌が多い患者さんでは症状の進行が早いことがわかっています。腸管内の異常が迷走神経を介して脳に影響しているという『腸管起源説』が有力視されています。アメリカの病院9350人の患者さんを最長14.9年追跡調査したところ、上部消化管にびらん・食道炎・潰瘍などの既往歴のある患者さんはパーキンソン病を発症するリスクが高いことがわかったそうです。ちなみに上部消化管の炎症は腸内細菌バランスに影響することが広く知られており、このことはパーキンソン病の腸管起源説を裏づけるものとして注目されているそうです。漢方では、老化がはじまったら(鹿)。鹿茸ろくじょう(鹿の袋角)を取り入れよと言われています。この鹿茸ペプチドをパーキンソン病モデルマウスに投与すると、酸化的損傷と腸内細菌叢の調節を介して神経保護効果を発揮するという研究報告が発表されています。



鹿茸ろくじょうには脳内神経細胞を保護・腸内細菌バランスを改善する作用があることは、認知症にも脳腸相関として期待できると思います。うちにあるのは「JPS製薬 鹿参仙」「救心の霊鹿参・複方霊薬参丸」取扱っています。

9月のおたよりで、真夏にアザレアが満開って!!という話を書きましたら、「うちも咲きましたよ」という徒報告がありました。まだそこそこ咲いているそうです。12月は(1年中咲くかもしれない…)アザレア特売月。ただ今詳細会議中…